

科目名	造形表現	担当講師	宮川紗織
授業形態・単位数	30時間・1単位	開講学年	1学年 前期
評価基準	最終レポート 30%, 提出作品および小レポート等 25%, 授業態度 30%, 授業の出席率 15%		
目標	幼児期の表現活動を支援するための知識・技術について実践的に学び、幼児の発達段階にあわせた活動の計画を行う上で、保育者に必要な造形表現の要点を理解し、指導力を身につける。		
回	講義内容	方法	
1	授業ガイダンス 今後の授業の進め方	アートカードで自己紹介	
2	幼児の造形表現①	造形表現の意義、においをあじわう	
3	幼児の造形表現②	片栗粉粘土 触覚の変化をあじわう	
4	幼児の造形表現③	生活素材	
5	幼児の造形表現③	自然素材	
6	造形表現から遊びへ	身にまとう①	
7	造形表現から遊びへ	身にまとう② からだから空間へ	
8	保育者の支援	材料・用具・場と空間	
9	協働による活動①	グループワークによる模擬保育	
10	協働による活動②	グループワークでの実践準備 1	
11	協働による活動③	グループワークでの実践準備 2	
12	協働による活動⑤	グループワークでの実践 1 と考察 1	
13	協働による活動⑥	グループワークでの実践 2 と考察 2	
14	協働による活動⑦	グループワークでの実践 3 と考察 3	
15	本科目のまとめと最終レポート		レポート
テキスト	吉田収 宮川萬寿美編著『生活事例からはじめる 造形表現』青踏社		
参考書	榎英子『保育をひらく造形表現』：萌文書林、2008年 磯部錦司『生活から生まれる新しい造形活動 子どもとアート』：小学館、2013年 無藤隆『事例で学ぶ保育内容 領域表現』：萌文書林、2007年		